

令和6年 決算特別委員会〔総合政策部所管〕開催状況

開催年月日 令和6年11月12日(火)

質問者 日本共産党 丸山 はるみ 委員

答弁者 総合政策部長兼地域振興監、
地域創生局長、地域戦略課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 道民意見の広聴と反映等について</p> <p>(一) 知事の地域訪問に関する支出費用等について 地方創生対策推進費を活用して、知事と市町村長や地域の方々との意見交換を行う「スクラムトーク」や、地域の取り組み実践者等との懇談を行う「なおみちカフェ」が行われています。昨年度、知事の地域訪問に際してどの程度の経費がかかったのか、支出費用はどのようなものか伺います。 また、スクラムトークとなおみちカフェは2019年度から実施していますが、それぞれ何件開催され、訪れた市町村数がいくつか伺います。</p> <p>(二) なおみちカフェの目的について なおみちカフェは「地域の取り組み実践者等との懇談」を行うとあります。地域で先進的な取り組みを行っている場所を訪れ、知事が懇談をしています。なおみちカフェは広く道民意見の収集を目的にしていると理解してよいのでしょうか。 道民が抱える課題や困りごと等、道民の声に寄り添い直接声を聞くことも知事の役割と考えますが、なおみちカフェの目的と合致しているものなのか、お答えください。</p> <p>(三) なおみちカフェのテーマ選定について そうするとですね、広く道民の声を聴くというものではないのかなというふうに理解しましたが、なおみちカフェを開催するにあたり、開催場所はどのように選定しているのでしょうか。各振興局が候補地を選定していると聞いていますが、知事の問題意識に沿って総合政策部が実施場所を選定することにはしていないのでしょうか。 また、知事自身から具体的な問題意識や具体的なテーマについて開催したいとの要望は出されたことはあるのでしょうか、お答えください。</p> <p>(再質問) これまで知事自身からテーマの発案や希望が示されたということはありませんか。</p>	<p>(地域戦略課長) 地域訪問の実績についてでございますが、知事の地域訪問の実施にあたりましては、本庁及び振興局の職員が同行し、意見交換の進行、報道対応、訪問先の関係者との調整、行事の記録など、現地の様々な運營業務に当たっており、令和5年度は、「スクラムトーク」を7回、「なおみちカフェ」を25回開催し、開催の都度、知事本人のほか、運營業務にあたる職員の交通費や宿泊費などの経費として、計141万円を支出しているところでございます。 また、地域訪問の実施状況につきましては、取組を始めた令和元年度からこれまで、「スクラムトーク」として19回、「なおみちカフェ」として216回、延べ210の市町村を訪問しているところでございます。</p> <p>(地域戦略課長) なおみちカフェの目的などについてでございますが、なおみちカフェは、知事が地域を訪問し、市町村長にも同席いただきながら、特色ある取組を行っている地域づくりの実践者の方々から直接お話を伺い、その取組を広く発信するとともに、道の施策に反映させることを目的としているところでございます。 これまで、農林水産、食品加工、観光振興、保健・福祉、歴史・文化、学校教育など、幅広い分野にわたって、各地の特色ある取組や課題などについてお話を伺ってきたところでございます。</p> <p>(地域戦略課長) 訪問先の選定についてであります。地域訪問の具体的な訪問先につきましては、地域づくりの拠点として常日頃から管内の動きを把握している振興局が、市町村の意向や地域が抱える課題を踏まえ、候補地を検討しているところでございまして、本庁におきましても、過去の訪問実績や地域バランスのほか、人口減少の進行や人材の確保など、本道が直面する様々な課題も考慮しながら、知事と相談の上、選定を行っているところでございます。</p> <p>(地域戦略課長) 訪問先の選定などについてでございますが、地域訪問の訪問先は、道政運営上、重要なテーマについて、知事と相談しながら、振興局が市町村の意向や地域が抱える課題を踏まえて検討した候補地について、本庁において、訪問実績や地域バランス、本道が直面する様々な課題も考慮の上、選定を行っているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) なおみちカフェの参加者募集について なおみちカフェ開催にあたって、開催日時や場所、参加者募集の告知というのは行っているのでしょうか。</p> <p>(五) 知事の地域訪問を通じて実施された施策について これまで実施してきたスクラムトークとなおみちカフェを通じて、道の施策として実施されたものをお答えください。</p> <p>(六) 幅広い道民意見の広聴と反映について これまでの開催実績を見ると、地域の観光施設や地場産業などで多く開催している一方、福祉関係や道民の困りごとを直接聞いているという内容ではありません。 選定にあたっては、道民の切実な問題意識に寄り添い、自ら道民の声を聞くという姿勢が求められると思いますけれど、優れた功績を生み出した人や地域だけではなくて、道民が抱える困りごとを知事として傾聴するような、なおみちカフェこそ行うべきではないかと思えますけれど、見解を伺います。</p> <p>(再質問) なおみちカフェが幅広い道民意見を聴く機会として設定されていないということが分かりまして、知事の道民の声を聴く力が問われているのではないのでしょうか。様々な機会を捉えて声を聴いていると思いますが、道民の立場から見れば自らの声を直接知事に届ける機会があまりにも乏しいと思います。この現状で道民の声を十分に聴いていると部長は断言できるのでしょうか。改善が必要と考えますが、いかがですか。</p>	<p>(地域戦略課長) なおみちカフェについてでございますが、これまで、様々な分野でご活躍されている地域の方々から地域の魅力や課題についてお話を伺い、訪問先の魅力や地域の先駆的な取組について、道として、SNS、動画、情報誌など、様々な手法により、広く情報を発信してきたところでございます。 なお、なおみちカフェにおいては、地域づくりを実践されている方々や市町村長の皆様との対話を行うこととしており、一般の参加者の募集などは行っていないところでございます。</p> <p>(地域戦略課長) 道の施策への反映についてでございますが、これまで、地域の方々から様々な分野で地域の魅力や課題についてお話を伺い、関連施策への反映に向け、庁内で検討を重ねてきたところであり、例えば、物価高騰の影響緩和に係る国への要請や補正予算への対応、風力発電や地熱発電など先進的な取組を踏まえた地域におけるゼロカーボンの取組支援、さらには、道内の地域おこし協力隊員の確保や任期後の定住・定着支援など、道の施策や具体的な取組につなげてきたところでございます。</p> <p>(地域創生局長) 地域訪問についてであります。地域の様々な課題や特色ある取組について、知事が直接地域に赴いてお話を伺い、道の施策につなげるとともに、地域の魅力を発信していくことは、本道の地域創生を推進していく上で、大変重要と認識をしております。 このため、これまでも、物価高騰による地域経済への影響、担い手不足の対策のほか、ゼロカーボンやDX、観光、アドベンチャートラベル、地学協働の推進、さらには交流人口の拡大など、様々な地域課題に関するご意見を伺い、庁内共有や道政への反映に努めてきたところでございます。 今後も、「スクラムトーク」や「なおみちカフェ」の実施を含め、様々な機会を通じて、地域の皆様からご意見を伺いますとともに、道政への反映に努め、誰もが安心して住み続けることができる地域づくりに取り組んでまいります。</p> <p>(総合政策部長兼地域振興監) 道民の方々からのご意見の聴取についてでございますが、知事が地域を訪問する際には、限られた日程の中ではありますが、可能な限り多くの地域を訪れ、現地で市町村長や地域づくり実践者の方々から直接お話を伺うなど、様々な分野について、意見交換を行うよう努めてきたところでございます。 また、それぞれの政策課題を所管する各部局や振興局におきましても、直接現場に赴き、市町村や関係団体など、幅広い関係者の方々との意見交換等を</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>知事が直接地域に入ってですね、特色ある取組についてお聴きをするということについて、否定している訳ではないんですよ。推進はしてほしいと思っていますけれど、一方で知事にお話をしたい、訴えたいという人たちの声を十分聴けているのかという問題意識を持っております。</p> <p><u>この点について、知事に直接お伺いをしたいと思</u> <u>いますので、委員長にお取り計らいをお願いいたし</u> <u>まして、質問を終わります。</u></p>	<p>行うなど、地域が抱える課題やご意見・ご要望の丁寧な把握に努めているところをございまして、今後とも、様々な機会を通じて、道民の皆様からご意見等を伺い、道政への反映につなげていけるよう、取り組んでまいります。</p>